

主な施設 Main Facilities

名 称	規 模
スマート酪農牛舎(乳用牛)	1,337㎡
フリーストール牛舎(乳用牛)	1,460㎡
ミルクングパーラー(乳用牛)	338㎡
繁殖試験牛舎(肉用牛)	1,010㎡
肥育試験牛舎(肉用牛)	927㎡
分娩哺育育成牛舎(肉用牛)	691㎡
繁殖豚舎	670㎡
試験豚舎	700㎡
バイオガスプラント	104㎡
畜産物評価加工棟	341㎡

面積 Area

区 分	面 積	区 分	面 積
建物敷地	8.5ha	保全林	3.1ha
草地飼料畑	36.3ha	道路	2.9ha
パドック	5.4ha	その他	6.2ha
総面積	62.4ha		

交通案内 Access



<自動車> 東北自動車道西那須野塩原I.Cから約2分

<電 車> JR宇都宮線西那須野駅からJRバス塩原温泉行乗車約15分 「試験場前」下車徒歩15分

<新幹線> 東北新幹線那須塩原駅からJRバス塩原温泉行乗車約35分 「試験場前」下車徒歩15分

連絡先 Contact

〒329-2747 栃木県那須塩原市千本松298

TEL 0287-36-0230 FAX 0287-36-0516

e-mail chikuraku@pref.tochigi.lg.jp

https://www.pref.tochigi.lg.jp/g70/index.html

沿革 History

- 大正 15. 3 南河内村薬師寺に栃木県種畜場発足
 昭和 26.12 栃木県種畜場那須分場を開設
 31. 2 那須分場に栃木県那須集約酪農指導所を併設
 31. 7 那須分場が栃木県有畜農業試験場に改組
 38. 4 種畜場が栃木県畜産試験場に改称
 " 有畜農業試験場が栃木県酪農試験場に改称
 47. 8 畜産試験場が芳賀町稲毛田に移転
 53. 4 酪農試験場南那須付属牧場を開設
 58. 4 付属牧場を南那須育成牧場に改称
 平成 20. 3 南那須育成牧場を閉場
 23. 4 畜産試験場と酪農試験場が統合し、
 栃木県畜産酪農研究センターに改称
 (元酪農試験場:本場、元畜産試験場:芳賀分場)
 28. 4 芳賀分場が本場(那須塩原市)へ機能移転
 令和 3. 3 スマート酪農牛舎が竣工



栃木県畜産酪農研究センター

Tochigi Prefectural Livestock & Dairy Experimental Center



スマート酪農牛舎



和牛繁殖牛舎



ウインドレス豚舎



トウモロコシの試験ほ場

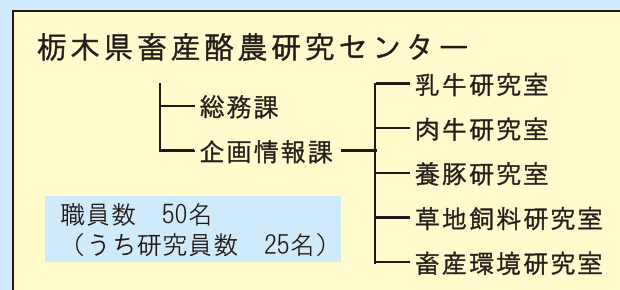


バイオガスプラント



畜産物評価加工棟

組織 Organization



飼養家畜 Number of Livestock

区 分	頭数
乳用牛（ホルスタイン種）	160頭
肉用牛（黒毛和種）	110頭
豚	250頭

栃木県畜産酪農研究センターでは、乳牛、肉牛、養豚、草地飼料、及び畜産環境の5つの研究室で本県の畜産振興に係る試験研究を行っています。

試験研究のほか、研究成果の現場への普及及び現場ニーズの把握を目的とした現地実証技術支援プログラムや飼料作物の品種選定試験、種畜配付などの業務も行っています。

なお、各研究室の試験研究及び業務の概要については、以下のとおりです。

乳 牛 研 究 室 Dairy Cattle Research Team

乳用牛の生産基盤強化のための経膈採卵(OPU)や体外受精(IVF)等を活用した受精卵移植技術、乳牛舎に導入した搾乳ロボット等のICT技術を活用した省力化及び生産性向上のための飼養管理技術の開発、特色ある生乳や乳製品開発などの試験研究に取り組んでいます。また、代謝プロファイルテストを活用した現地技術支援などにも取り組んでいます。



採卵風景



生乳加工(チーズ)



現地技術支援風景

肉 牛 研 究 室 Beef Cattle Research Team

肉用牛の生産基盤を強化するため、経膈採卵(OPU)や体外受精(IVF)等を活用した受精卵移植技術や、栄養代謝に基づいた育成牛・肥育牛の生産性改善技術、能力向上のための遺伝情報やICT活用による評価診断技術、本県産牛肉の品質や美味しさ向上に向けた技術開発などの試験研究に取り組んでいます。



OPU-IVFによる受精卵の作出



肥育牛の血液性状分析



超音波による産肉形質診断

養 豚 研 究 室 Swine Research Team

養豚の生産コスト低減、販売力強化及び飼養管理技術向上のため、ICTを活用した事故率低減のための技術や豚肉の新たな評価指標の開発、地域資源を活用した飼養技術の試験等に取り組んでいます。また、県内の銘柄豚肉の肉質分析や豚人工授精技術研修会を定期的実施しています。



ICTを活用した肥育試験



豚肉の肉質分析



豚人工授精技術研修会

草 地 飼 料 研 究 室 Pasture and Forage Research Team

飼料自給率向上のため、牧草や飼料用トウモロコシの生産にICTなどの先端技術を活用する試験や、飼料作物の優良な品種を選定する業務を行っています。また、飼料用稲栽培における現地での技術普及や農家で生産された飼料の分析などを行い、省力的かつ安定した飼料作物栽培を支援しています。



場内ほ場の風景



試験用トウモロコシの収穫



飼料用稲の現地試験ほ場

畜 産 環 境 研 究 室 Livestock Industry's Environment Team

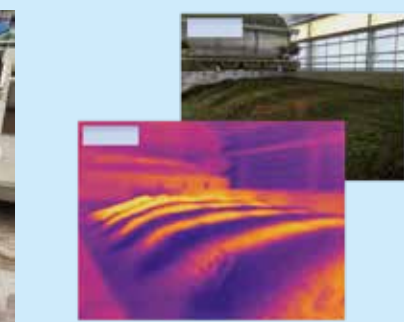
環境資源循環に配慮した持続的な畜産業の実現のため、畜産農場における臭気拡散防止手法の確立や畜産排水処理施設における高度排水処理技術の確立、利用拡大に向けた堆肥技術の開発などを行っています。また、環境に優しい畜産経営を推進するため、畜産バイオガスプラントの長期稼働の実証や畜産農家の臭気対策技術の支援に取り組んでいます。



臭気測定用ドローン



排水処理施設調査



堆肥化施設(感熱カメラ)